



4月1日付新採用職員の6人(写真右から、阿部正陽・中軽米広和・工藤瞳・佐藤麻季子以上主事補、工藤八千代看護師)

予算特別委員会

一般会計は総額159億円

予算特別委員会（伊藤一彦委員長、小野寺昭一副委員長）は、3月8日から19日まで開催しました。この委員会は、議長を除く議員25人で構成。総額159億1,350万円となる平成19年度一般会計予算のほか、特別会計7会計、企業会計2会計についてそれぞれ審議しました。ここでは、予算特別委員会における主な質疑を紹介します。

平成19年度各会計の予算額(金額は、1万円未満を四捨五入)

会 計 名			19年度予算額	18年度予算額	17年度予算額	比較増減		
						対18年度	対17年度	
一 般 会 計			159億1,350万円	152億6,220万円	154億5,060万円	4.3%	3.0%	
特 別 会 計	国民健康保険（事業勘定）		33億1,572万円	28億8,902万円	28億4,817万円	14.8%	16.4%	
	老人保健		31億4,325万円	31億5,757万円	33億 905万円	△ 5.0%	△ 5.0%	
	簡易水道事業		—	—	3億6,097万円	—	皆 減	
	公共下水道事業		8億2,572万円	11億8,821万円	10億5,800万円	△30.5%	△22.0%	
	農業集落排水事業		11億1,644万円	10億8,356万円	10億7,150万円	3.0%	11.9%	
	浄化槽事業		8,239万円	1億1,257万円		△26.8%		
	国民健康保険（診療施設勘定）		2億6,813万円	2億7,310万円	2億6,746万円	△ 1.8%	0.3%	
	索道事業		4,579万円	1,935万円	1,055万円	136.4%	334.0%	
	公共用地先行取得事業		—	412万円	412万円	皆 減	皆 減	
企 業 会 計	西根病院事業	収益の収入・支出	7億2,801万円	6億8,732万円	7億3,407万円	5.9%	△ 0.8%	
		資本的	収 入	2,579万円	1,272万円	8,786万円	102.8%	△ 70.6%
			支 出	3,406万円	3,285万円	9,295万円	3.7%	△ 63.4%
	水 道 事 業	収益的	収 入	5億3,243万円	5億2,543万円	3億8,430万円	1.3%	38.5%
			支 出	4億9,655万円	5億 853万円	3億3,721万円	△ 2.4%	47.3%
		資本的	収 入	9,927万円	1億3,093万円	8,303万円	△24.2%	19.6%
			支 出	3億7,452万円	4億1,492万円	2億8,921万円	△9.7%	29.5%
					—	—	—	—

※17年度予算額は、8月までの旧3町村予算と、9月以降の新市予算の合計。簡易水道事業特別会計は、合併時に水道事業会計に統合。公共用地先行取得事業特別会計は、地方債の償還終了のため19年度の予算計上はなし。



昨年取り壊された学習院松尾八幡平校舎

歳入全般

問 総合計画は市の運営の柱であり、予算、決算が計画に沿って進まなければ財政運営が行き詰まる。既に誤差が生じており、計画を見直す必要があると思うが。

答 財政計画の範囲の中で、新市建設計画を実施することは必要だが、この差が即事業の変更額に適用されるかは、事業費を精査しなければ断言できない。

問 新市の一体感、合併協定を優先するのか、市民生活を優先するのか伺う。

答 二者択一ではなく、財政バランスを取りながら福祉も建設計画も実行したい。

問 10年後の地方交付税額をどのように想定するか。

答 年度ごとに進捗管理をしながら、目標年次に向かって進めていく。

問 皇族ゆかりの学習院跡地公園を、観光面からも生かす方策を考えているか。

答 簡素で自然にマッチした形での管理を考えている。

問 選挙運動の公費負担について、当局の考えは。

答 県内13市では本市と宮古市が実施していない。他市町村の状況を見ながら調

査研究したい。

問 浄安森林組合の統合と、今後の在り方について伺う。

答 協議の過程と認識する。

問 団体の活性化や地域を知るためにも、コミュニケーションバス運行が必要では。

答 補正予算で決定したコミュニケーションバス購入がそれで、各種団体で活用いただくためのものである。

問 安代総合支所に産業建設課を設置し、過疎化を食い止めるべきと思うが。

答 どうすれば住民サービスが向上するか検討した結果、本庁で実施した方がスムーズにいくと判断した。

問 庁舎建設のお金は福祉に回せないと市長が話しているが、その根拠は。

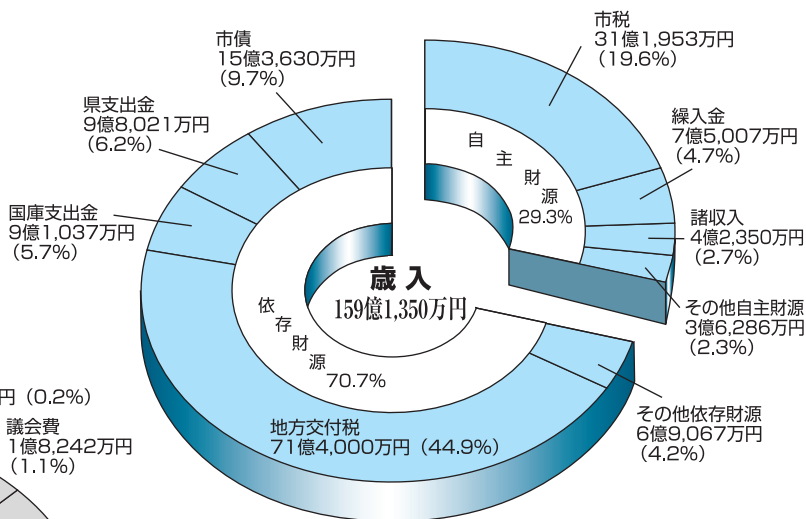
答 庁舎を建設しない場合は、現庁舎の増築をしなければならぬ。必要な基金と認識している。

問 協働のまちづくり事業は、市民も非常に期待しているが、実情を伺いたい。

答 地域振興協議会で企画書を取りまとめ、10年間で事業を進める。企画書の見直しは考えている。補助金の利用の相談は、総合政策課または総合支所で承る。

総務費

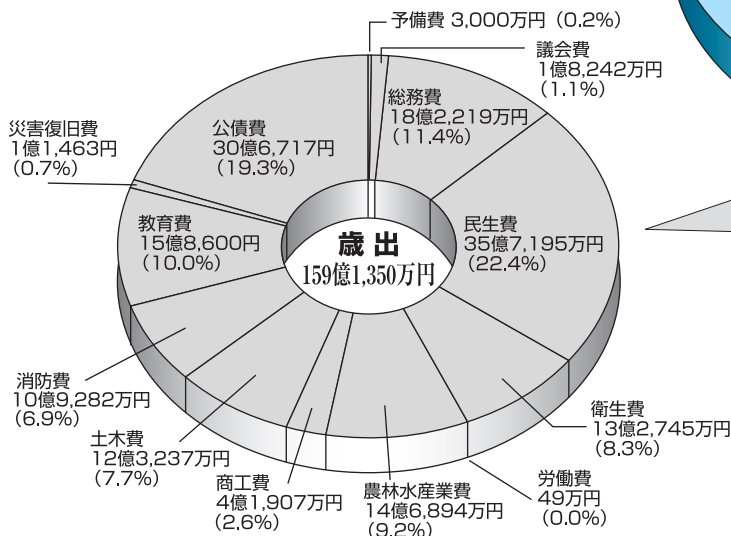
平成19年度一般会計歳入内訳



◎歳入のポイント

最も大きな割合を占める地方交付税は、前年度よりも2億2,800万円増え、71億4,000万円となっています。また、国からの税源移譲により、市税が3億706万円増加。自主財源比率も3.1%増加し29.3%となりましたが、前年度は5億7,653万円あった所得譲与税が廃止されました。

平成19年度一般会計歳出内訳



◎歳出のポイント

福祉向上に使われる民生費が最も多く、前年度より7,166万円多い35億7,195万円となっています。また、安代防災センター新築が予定される消防費が2億4,306万円増えた一方、教育費は、松尾中学校と西根中学校の体育館を改築した前年度より、2億1,151万円減少しました。

民生費

問 婦人相談員の役割は。

答 主に夫婦間や家庭問題など、女性に対する相談業務であり、虐待や育児などをはじめ、家庭不和、離婚などの相談にも応じている。

問 渋川小学校の学童保育はどういう計画か。

答 東大更小学校にタクシードで送る計画だったが、学区内に設置してほしいという要望が多く再度検討する。老人の温泉利用補助金



4月5日に開所した東大更学童保育クラブ

が100円減るのはなぜか。

答 西根老人憩の家との調整でこのようにした。

問 私立保育園への補助は適正な会計処理がなされているか。

答 補助金の充当が明確となるような決算を指導する。

衛生費

問 最終処分場建設に係る地質調査などは19年度に終了するののか。

答 年度内に終わる予定で進めている。

労働費

問 ふるさといわて定住財団への加入メリットは。

答 新卒、Uターン希望者への説明や、相談に応じている。

農林水産業費

問 ペレットストーブへの補助内容は。

答 ペレットストーブには、市と県から各5万円、まきストーブには、市単独で5万円を上限に補助するものである。

問 合併記念植樹祭の内容を伺う。

答 合併を記念して、道の駅にしねの東側で9月1日

ごろに植樹祭を開催したい。
問 道の駅にしねの増改築の内容は。

答 産直施設を拡大して、現在のレストランを移設する計画である。

問 新規リンドウ栽培者助成補助金の内容は。

答 市内栽培面積の拡大のため、新規栽培者へ苗代の50%を助成する。

問 リンドウ栽培の除草シートの効果は。

答 除草剤の使用も減り、除草の労働も省力できるの、普及させたい。

問 雪冷房リンドウ培養育苗生産施設の内容は。

答 リンドウの培養は10度から15度が適温であり、エアコンの電気代が数百万円となることから、雪解け水

商工費

を利用して冷房をしようとするものである。

問 ことし八幡平市で開催予定の「いわて産業まつり」の内容は。

答 従来の市の産業まつりと、いわて産業まつりを合併して、9月7日から9日まで、安比高原を会場として開催する計画である。

問 商店街活性化推進事業の内容は。

答 法の改正を受けて、活性化を促進させるものであり、ハード事業には2分の1、ソフト事業には3分の1を補助するものである。

土木費

問 市道前森山線の新設改良道路は、その必要性について組織的に検証したか。

答 検証していない。

問 市道大更中央線は、大更駅正面へつなげるような構想はあるか。

答 大更駅西側の道路計画と一体となることは当然であり、後手にならない方向で検討したい。

消防費

問 消防団の組織再編への取り組みは。

答 19年度から20年度までの2年間で再編したい。

教育費

問 スクールガードの役割と今後の取り組みは。

答 3地区の防犯隊員にお願いしている。年間30時間程度を目安に実施していただく。他の組織との結び付きについては、必要に応じて対処していく。

問 西根中学校中庭整備の内容は。

答 当初実行委員会の方で実施する予定もあったが、学校施設であり、行政で整備することが妥当と考えた。

問 小学校へのこにこサポート、ひかりサポートの状況を伺う。

答 こにこサポートは、複式学級に助手的に配置するもので、ひかりサポートは、外国人や、ADHD（注意が持続できない、離席が多いなどの症状）の子どもがいる学級に、助手と

- して配置するものである。
- 問** 田山スキー場に施設備品購入費5300万円とあるが、その内容は。
- 答** ジャンプ台の圧雪車を購入するもので、ウインチ付きのため高額になった。過疎債で購入すると、リースより安上がりになる。
- 問** 平舘小学校中庭舗装工事で、職員入口まで実施できないか。
- 答** 今回は、給食車プラットホームまでを実施するが、今後計画に入れ整備する。
- 問** 給食費滞納の対応は。
- 答** 納めてくださいと言うだけでなく、詰めた対策も必要だと考えている。
- 問** 大更公民館新築は、防衛施設庁の補助金が先延ばしになった。次年度も補助金が付かない場合、市独自でも実施する考えはあるか。
- 答** 防衛施設庁の補助金採択がなかった場合、他の制度を使っても実施したい。
- 問** 図書館の増築やインターネット設置の考えは。
- 答** 図書館増築は、今後の動向を見ながら考える。インターネットは、検討したいので時間をいただきたい。
- 問** 学校の洋式トイレ設置



ジャンプ台の整備にはウインチ付き圧雪車が必要ですが、田山スキー場にはなかったため、今までは中学生などの協力で踏み固めてきました

- は、どうなっているか。
- 答** 子どもがけがをした際などに必要、整備していく。
- 問** 全国学力テストは、過度な競争に追い込むのでは。
- 答** 全部競争が悪いとは思わない。過度な競争は否定するが、全体の中での位置は掌握しなければならない。
- 問** 安代中学校の教室がなぜ狭いのか。
- 答** 40人学級制度になった段階でできた校舎だが、1クラスになることを想定している事業で、縮小されるものも出てくる。将来財政規模が下がってくれば、公債費も下げなければならない。
- 問** 市の財政計画は基本的には新市建設計画と判断しているのか。
- 答** 新市建設計画に載っている事業で、縮小されるものも出てくる。将来財政規模が下がってくれば、公債費も下げなければならない。

公債費

反対



山本 栄 議員

本市の失業率が、5年前よりも2%増加するなど、市民の暮らしは依然として厳しい。住民税、国保税や介護保険料が上がり、貧困と格差が深刻となっている。予算は住民生活支援に回すべきであり、市当局は、新庁舎建設の必要性、市道前森山線の改良工事の経済性、保育の充実の観点から見た市立保育所民間委託、統合の有効性、安代総合支所縮小による地域の影響などについて十分に検証していない。乳幼児医療費助成の所得制限を19年度から撤廃することは評価するが、新年度一般会計におけるこれらの問題点を指摘し、改善を求め、反対討論とする。

討論

反対 賛成

賛成



新市のまちづくりは今始まったばかりであり、合併時の新市建設計画を具現化する八幡平市基本構想に従い、前期5カ年の基本計画を着実に推進することが期待されている。集中改革プランでは、中期計画の財政見通しも示された。田村市長は、「健全財政の維持と管理に取り組み、市民関係団体に情報公開や対話を深め、人と環境に優しいまち八幡平市の実現に向けて推進する」と施政方針で述べたが、予算審査の結果、財政危機や行政サービスが低下する様子も感じられず、むしろ健全な財政運用を行う強い姿勢の予算編成であると認め、賛成討論とする。

三浦 栄吉 議員

特別会計全般

問 国保の資格証明書発行において、特別な事情の中に、生活の困窮も明記すべきではないか。

答 特殊な事情は審査会で決定するが、明記するかは今後検討したい。

問 農業集落排水事業の田頭・平笠地区終末処理場は、どう考えているか。

答 公共下水道の処理場とつなぐ方向で進めている。

問 舗装の本復旧はどうなっているか。

総括質問

問 安代産業振興公社が進めているヤマブドウ製品の販路拡大への支援は。

答 費用支援だけでなく、流通系統や観光施設を生かした販売拡大を図りたい。

問 合併協定で新庁舎を建設する位置、場所など、ある程度決定されたが、新庁舎はどうあればいいか何う。

答 新庁舎建設は合併の根



ヤマブドウワインなどの特産品が並ぶ市内の観光施設

幹をなす事業で、合併協定を尊重し、論議を交わし進めていく考えで臨みたい。

問 庁舎問題で合併協定項目は守るべきという議論もあるが、市民は、大変な財政状況だから建設は見直してほしいと言っている。ごり押しできないかと思うが。

答 庁舎建設がどうあればいいか内部で詰め、必要事項があれば住民に説明し、検討委員会でも検討したい。

問 本市の完全失業率が5・6%という厳しい実態をどう考えるか。

答 経済の上昇という中でも、就業面、就職率についても満足が得られるような状況になっていない。本市においても、企業の誘致状

況も上向いていない状況である。何とか安定した雇用の場面に つなげていくよう、鋭意努力していく。

問 個人の借地に公の施設を建設している例が76件あり、借上料を毎年1400万円支払っているが、今後の改善策は。

答 活用されていない施設については返し、将来的にも活用が見込まれるものは取得の方向で考えている。

問 市で使っている「八幡平市」というオリジナルな字体の漢字は、市の公用車にも使うなど、体的的にアピールすべきではないか。

答 市独自のものでもあり、車などに市章、あるいは市名掲載の際には留意したい。

第1回臨時会

西根病院事業会計予算を可決

市議会第1回臨時会は、3月26日に開催しました。今回の臨時会では、金額の一部に誤りがあつたため、3月定例会で提案が撤回された平成19年度八幡平市国民健康保険西根病院事業会計予算の1議案を審議し、原案のとおり可決しました。

全会一致で可決

▼平成19年度八幡平市国民健康保険西根病院事業会計予算

収益的収入・支出を7億2800万6000円とするなど、8ページで掲載したとおり定めるものです。

これらの収入・支出金額は、3月定例会で当初提案された額と同じですが、附表の貸借対照表に誤りが見つかったため撤回し、今回再提案したものです。

問 この会計方式だと、ミスした場合は自動的にチェックできるため、うっかりミスはあり得ない。だとすれば、会計のやり方が間違っていたのではないか。

答 公営企業を初めて経験する職員がほとんどであり、経理の手引きなどでプロになる努力をしているが、現金預金、未収金、未

払い金の考え方がばらばらであった。今後は厳しく精査してまいりたい。

問 前年度4000万円の赤字を出しているが、現金預金が9億円あるのは、どのように評価するか。

答 この9億円については、減債積立金や建設改良積立金というふうに使いが限られており、赤字を簡単に薄められるものではない。ただし、繰越剰余金が5300万円ほどあるので、仮に4000万円の欠損を迎えたとしても、まだ剰余金が残ることになる。

問 この医師不足の中、新年度で内科常勤医師をさらに1人配置できたことは喜ばしいが、入院、外来患者の見込みは大丈夫か。

答 医師が充実して即患者数が回復するものではないが、間違いなく達成できるものと思っている。